



果樹特報 No.7

令和6年7月17日
JA中野市営農センター
JA中野市りんご・もも部会

病害防除は予防散布が基本となりますので、散布予定日に降雨が予想される場合は前倒して散布してください。

【第11回 定期散布】

*散布時期は目安です。生育状況により前後する可能性があります。

【定期散布】散布日	____月 ____日(____)
散布量	_____ℓ

散布時期	8/3~10 *前回から14日以内		
散布薬剤	水	100ℓ当たり	
	展着剤(ハイテンパワー)	10ml	
	ナリアWDG	50g	(前日、3回)
	劇バリアード顆粒水和剤	50g	(前日、3回)
	オマイト水和剤	133g	(3日前、1回)
対象病害虫	輪紋病、炭そ病、斑点落葉病、すす点病、すす斑病、黒星病、褐斑病 カメムシ類、ハダニ類、シンクイムシ類、リンゴワタムシ、 (キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ、コナカイガラムシ類)		
散布量	600ℓ/10a		
注意事項	①【ドリフト注意】オマイト水和剤はナシ類に登録がないので飛散しないように注意する。 ②バリアード顆粒水和剤は劇物登録農薬です。購入の際は印鑑をご持参ください。		

【シナノリップ収穫前管理について】

・**収穫予想**：中野市 8/8頃 *満開後105日 収穫は3回に分けて行う

・**着色管理(葉摘み)** 日焼け防止のため、2回に分けて行う

1回目：7月中旬頃/曇りの日、最高気温30℃程度の日をねらって行う。摘む葉は1果2枚までとする。

2回目：収穫10日前後/“タイベック”を敷くと樹幹内部の果実が着色しやすくなる。

・**心かび果の判断ポイント** *7月中旬頃から心かび果が出てきます！

①異常に早く着色した果実

②地色の抜けが異常に早い果実

③収穫期に近づくほど、全体的に着色が進み、心かび果かどうかの判断が難しくなります。まずは、割ってみて心かび果かどうかを確認してください。

次面もご覧ください。(第12回定期散布 他)

次回発行予定
7/17(月)

【第 12 回 定期散布】

【定期散布】 散布日 ____ 月 ____ 日 (____) 散布量 _____ ℓ
--

* 散布時期は目安です。生育状況により前後する可能性があります。

散布時期	8/17~8/24 * 前回から 14 日以内
散布薬剤	水 100ℓ 当たり 展着剤 (ハイテンパワー) 10ml ① イカズチ WDG 66g (前日、2回) アリエッティ C 水和剤 125g (前日、3回)
対象病害虫	輪紋病、炭そ病、斑点落葉病、褐斑病、すす点病、すす斑病、黒星病、ハマキムシ類、シンクイムシ類、キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ
散布量	600ℓ / 10a
注意事項	① 【ハダニ類対策】ダニオーテフロアブルの 2,000 倍 (前日、1 回) を加用する。ただし、散布の際は銅剤 (キノンドー) 散布の 45 日以降とする。 ② 【果実軟化防止対策】カルタスの 1,000 倍を加用する。 目安：第 12 回以降、2~3 回連続散布

【ハダニ類の防除について】

梅雨明け後、気温が高くなるとハダニが一気に増える可能性があります。殺ダニ剤の選択についてご確認ください。尚、同一系統薬剤は抵抗性回避のためどちらか一回のみの散布としてください。

薬剤名	IRAC コード	倍率	使用基準 (日数、回数)	各ステージに対する効果		
				卵	幼若虫	成虫
コロマイト乳剤	6	1000	前日、1 回	○	○	○
オマイト水和剤	12	750	3 日前、1 回	○	○	○
マイトコーネフロアブル	20	1000	前日、1 回	△	○	○
カネマイトフロアブル		1000	7 日前、1 回	○	○	○
ダニゲッターフロアブル	23	2000	前日、1 回	○	○	△
エコマイト顆粒水和剤		2000	前日、1 回*	○	○	△
ダニサラバフロアブル	25	1000	前日、2 回	○	○	○
ダニコングフロアブル		2000	前日、1 回	○	○	○
ダニオーテフロアブル	33	2000	前日、1 回	○	○	○

* エコマイトは令和 6 年 3 月に適用拡大され、なし・ぶどうにも適用されました。また、りんごは使用基準が変更され前日まで散布できるようになりました。